

令和3年度千葉県救急・災害医療審議会の結果について

議 事

救急医療体制の充実強化に向けたワーキンググループの設置について

承認	否認
13	0

御意見

- ・ 歯科における救急医療の必要性
休日・夜間、特に長期休日（年末年始・ゴールデンウィーク等）時の病院歯科対応の歯科疾患に対する救急医療体制の必要性の実態調査と救急医療ネットワークの構築
- ・ 課題①のなかで、論点②で役割分担や実績に基づいた新規指定や継続の適否、さらに適切な施設数についても再検討が必要と思われます。
- ・ 課題②については、病院情報「千葉救急医療ネット」など ICT の有効な運用による効率的な情報共有の可能性について検討いただけると幸いです。
- ・ 地域性を考慮した体制作り
地域により医療供給体制が大きく異なり、県内統一ルールを適用できない地域もある
- ・ 機能していない二次医療機関の詳細な実態調査と看板だけの医療機関に対する対策を立てる必要が有ると思います。
- ・ 補助金の効果的使用の見直しと透明化は必要だと思います。アウトカムとして収容所要時間の短縮をめざすことは、県民からも理解を得やすいと感じました。
- ・ 本県における救急医療の現状（現場滞在・病院搬送に時間を要している。救命救急センター・救急基幹センター、二次救急医療機関間の受け入れ実績のバラツキ等）から県が実施している事業の適正化等、救急医療の充実強化に向けた検討は必要と考えます。ワーキンググループメンバーに看護職（急性・重症患者看護専門看護師・救急看護認定看護師・公益社団法人千葉県看護協会）を加えていただきたい。

報 告

救急安心電話相談について

御意見

- ・良い事業と思う。電話の件数が増えてくれば、より効率的な運用が必要と思う。1件あたりの電話時間・対応方法など、可能であればこの事業の詳細な内容も確認したいと思った。
- ・救急医療体制の構築は、地区によって医療資源の差もあり、かなり異なります。全県から等しくアクセスできる体制として価値があると思います。継続を望みます。
- ・議事「救急医療体制の充実強化に向けたワーキンググループの設置について」の「歯科における救急医療の必要性」に関連した救急医療ネットワークが必要である。
- ・救急安心電話相談のうち46.3%が直ちに診療を受ける必要がないというアドバイスがなされたことはこの窓口が非常に有効に活用されていると思います。
ただ、一定数はUnder Triageの症例が含まれるのではないかとおもわれますが、問題になる症例などは特にありませんでしたでしょうか。
- ・空白の時間(終了時間から病院が始まる時間)の解消はできないのでしょうか？
- ・具体的な相談内容の分析について
 - ▶実施すべきではないでしょうか。もし行っていれば公表し、事業の評価を
 - ▶分析結果は、今後の事業に活用できるのではないのでしょうか
- ・医療機関受診軽減に有効であったのはわかりました。できれば経済的な効果試算と、費用との比較を知りたいと思います。
- ・施行することは賛成ですが。それを一般の方にきちんとお知らせすることが大切と思います。
- ・資料2「7今後の課題」にあるとおり、相談時間の延長及び回線増を進めていただきたいと存じます。
- ・救急安心電話相談事業により、県民の不安解消、救急医療に係る医療従事者の負担軽減、救急車の適正使用等に効果を上げていると思う。相談件数は年々増加しているが、不要不急の救急医療受診を減少させ医療従事者の負担軽減につなげるためには、更なる県民への周知が必要であり、相談件数の多い時間帯の回線増も検討が必要と考えます。